学校番号	２０６

令和８年度　地歴公民科

教科	地歴公民	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　歴史総合(第一学習社)						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主体性をもち、国際社会における多様な価値観や文化を認め、平和で民主的な国家および社会の形成者に必要な資質能力の育成をめざします。
・講義形式だけでなく、自ら考え、発言できるような授業形態をとります。
・単語の暗記ではなく、歴史的事実に関する原因・結果の因果関係を理解し、また、その歴史事実が現在の自分にどうかかわるのかを考えます。
・資料の読み取りなども積極的に行います。
・中学校で習ったことが基礎知識としてあることを前提に進めます。教科書は事前に目を通して置いてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・近現代に起きた歴史的諸事象についての考察力を活用し、日本史・世界史の近現代の学習の完成を図ります。
・近現代史の理解に必要な基礎事項の習得・定着を図り、日本史・世界史とも関連付けながら、歴史的諸事情に対する考察を深めるための情報を調べ、まとめる技能を身につけることをめざします。
【思考力、判断力、表現力等】
・各時代の意義・特色や時代の変化にかかわる特徴を、諸資料を読み解いて多面的・多角的に考察する力を身につけ、それを論理的に説明・議論する力を育成することをめざします。
【学びに向かう力、人間性等】
・各時代における諸問題について、諸資料に基づいて主体的に課題を設定し、多様な意見を考慮しつつ、課題解決のために持続的に考察できる力の育成を図ることをめざします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度や，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1部歴史の扉	○歴史と私たち ○歴史の特質と資料	a: 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 b: 近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と関わらせて，私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現する。 c: 諸資料を活用し，課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

	第2部　近現代の世界と日本　第1章　近代化と私たち近代化への問い	○18 世紀のアジアの繁栄 ○産業革命と市民革命 ○イギリスの繁栄と国民国家の拡大 ○アジア諸国の変貌と日本の開国 ○帝国主義の発展	a:　・18 世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に，工業化と世界市場の形成を理解する。 ・18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向，日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 b:　・18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察	定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

			し，表現する。 ・帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c： ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			
		○近代化と現代的な諸課題	a：自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点から主題を設定し，現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 b：事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，主題について多面的・多角的に考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			

2学期	第2章　国際秩序の変化や大衆化と私たち	○第一次世界大戦と大衆社会 ○経済危機と第二次世界大戦 ○第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成	・世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的･多角的に考察し，表現する。 ・経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的･多角的に考察し，表現する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係など	定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

		○国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	を多面的･多角的に考察し,表現する。 c:諸資料を活用し,課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 a:自由・制限,平等・格差,開発・保全,統合・分化,対立・協調などの観点から主題を設定し,現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 b:事象の背景や原因,結果や影響などに着目して,日本とその他の国や地域の動向を比較したり,相互に関連付けたりするなどして,主題について多面的・多角的に考察し表現する。 c:諸資料を活用し,課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			

3学期	第3章 グローバル化と私たち	○冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 ○国際秩序の変容と21世紀の世界	a：・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解する。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 ・石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解する。 ・冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 b：・地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互	定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

			に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c: 諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			
		○現代的な諸課題の形成と展望	a: 持続可能な社会の実現を視野に入れ，自ら主題を設定し，歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解する。 b: 事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 c: 諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度